

**実践講座 子どもの安全を
地域のみんで守ろう**

とき: 10月30日(土)午後1時30分～3時
ところ: 二川地区市民館(大岩町字東郷内)
内容: 最近の不審者情報などの実例をとおして、地域の子どもの守る防犯対策を考えます
講師: 防犯活動推進指導者(警察OB)
定員: 50人(申込順)
受講料: 無料
申し込み: 10月29日まで
に安全生活課(☎51・2303☎56・0123)

市民病院の施設見学会

とき: 10月25日(月)午後2時～4時 **ところ:** 市民病院(青竹町字八間西)
内容: 市民病院の機能・役割・実態、4月に開設した「患者総合支援センター」に関する説明、院内施設見学
定員: 30人(申込順)
参加料: 無料
申し込み: 10月4日から返信先明記の往復はがきで、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を市民病院管理課(〒441-8570住所不要☎33・6276)

**豊橋文学めぐり
芭蕉と白雪の句碑めぐり**

とき: 11月4日(木)午前9時～午後4時
集合・解散: 中央図書館(羽根井町)
内容: 豊橋、新城に存在する芭蕉と、弟子である新城の俳人・白雪の句碑を巡ります
講師: 豊田俊充さん(三河芭蕉会会長)
定員: 23人(申込順)
参加料: 無料
持ち物: 昼食
申し込み: 10月19日から電話または申込書で中央図書館(☎31・3131)※申込書は中央図書館で配布



**地下資源館開館30周年記念展
もつたいない 地上の地下資源とエネルギー**

情報ピックアップ

廃棄される家電製品、自動車、ゴミなどの中には貴重な金属が含まれています。これらをリサイクルできれば、日本は資源大国になることができます。廃棄家電製品などを地上資源とみなし、地下資源と対応させ、その有効利用の現状を紹介するとともに、再生可能な生物資源・自然エネルギーについても参加型展示やクイズを取り入れ紹介します。

とき 10月9日(土)～11月28日(日)
ところ 地下資源館・視聴覚教育センター(大岩町字火打坂) **観覧料** 無料

■ワークショップ
わんがけで宝石をさがそう
とき 11月6日(土)～14日(日)の土・日曜日午後1時～3時(随時参加可)
ところ 地下資源館 **内容** サイエンス・ボランティアの指導で、水の力を使って鉱物をより分ける方法を体験します。小さな鉱物のプレゼンテーションもあります
参加料 無料
申し込み 不要

■ワークショップ
ソーラーパワーを調べよう
とき 11月7日(日)午前9時30分～正午
ところ 視聴覚教育センター
対象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
内容 太陽光発電で回るソーラープレーンづくりや太陽光の紫外線・スペクトルなどを調べます
定員 15人(申込順)
参加料 無料(材料費1700円必要)
申し込み 10月10日午前9時から地下資源館

**■記念講演会 なくならない地上資源
もつたいない地下資源**

とき 10月31日(日)午後1時30分～2時30分
ところ 視聴覚教育センター
内容 小学生にもわかりやすく実験をまじえて、地球環境問題とエネルギー問題を、廃棄物・ゴミ・物質・モノ・資源の観点から考え直します。また、森林を含めた生物(生態系)の観点からも考え、炭素を通じて



わんがけで宝石をさがさうのようす



ソーラーパワーを調べようのようす

問合せ先

地下資源館(〒441-3147
大岩町字火打坂☎41・2833)

「共通事項」**休館日** 月曜日(祝・休日の場合は翌平日)

豊橋総合動植物公園

のんほいパークの催し



「コップテン」
COP10サポート事業
豊橋総合動植物公園で学ぶ生物多様性

■ケナガマンモスの全身骨格展示

とき 10月9日(土)～11月7日(日)

内容 約1万年前に人類が滅ぼしてしまっただとも言われるケナガマンモスの全身骨格などを展示します



ケナガマンモスの全身骨格

■自然史博物館 自由研究展

とき 10月9日(土)～11月7日(日)

内容 生物多様性に関係した研究など、市内の小・中学生が行った自由研究の優秀作品を展示します

「共通事項」ところ 自然史博物館特別企画展示室 問合せ 自然史博物館(☎41・4747)

■生物多様性スタンプリー

とき 10月16日(土)・17日(日)・

ます 参加料 100円～500円(材料費)

■自然史博物館(☎41・4747)

■自然史講座 遺跡から出土した骨

とき 10月31日(日)午後2時～3時

対象 小学4年生以上
内容 貝塚や屋敷跡から出土した動物の骨からわかる、人と動物の関わりについて紹介します

講師 当館学芸員 定員 40人
(申込順) 入園料 無料 申込先 自然史博物館

■収蔵資料紹介展 干潟の生き物

とき 10月2日(土)～11月28日(日)

内容 ガイドブック「干潟の自然」の発行を記念し、汐川干潟など豊橋周辺の干潟の生き物を紹介します

■学芸員とおしゃべりタイム

化石にふれよう

とき 10月10日(日)午後1時30分(約30分)

内容 恐竜やアンモナイトをはじめ展示室の化石にさわりながら化石について話します



みどりの協会(☎41・7400)

■みどりの講座

香りの調味料を作ろう

とき 10月23日(土)午後2時～4時

ところ みどりの協会講義室(総合動植物公園東門)
対象 市内在住・在勤の方(10歳以下は保護者同伴)
内容 お好みのハーブを組み合わせて、バターやチーズ、塩に混ぜ込んでオリジナルの調味料を作ります

講師 宮野ちひろさん(浜名湖グリーンファーム) 定員 36人
(抽選) 参加料 800円(材料費) 入園料 無料 持ち物 キッチンばさみ、タッパー 申し込み 10月13日(必着)までに返信先明記の往復はがき(1枚2人まで)で講座名、参加者全員の郵便番号・住所・氏名・電話番号・市外在住の方は勤務先を豊橋みどりの協会(〒441-3147大岩町字大穴1-238)

のんほいパークからこんにちは



絶滅したゾウの仲間 ケナガマンモス

現在、ゾウの仲間は2種しかいませんが、かつては多くの仲間が生きていました。なかでも今から約50万年前に出現し、1万年ほど前に絶滅したケナガマンモスは有名です。自然史博物館の自然史スクエアの壁面と新生代展示室では、それぞれキバと下顎、奥歯を見ることが出来ます。また、イントロホールに設置された楽しむ化石壁に設置された奥歯は、さわることでできる化石です。かみ合わせの部分がおろし金(がね)のようになっていてこの面で植物をすりつぶして食べていました。実際にさわって歯の感触や形を確かめてみてはいかがでしょうかでしょう。



ケナガマンモスの奥歯(オランダの海底で発見されたもの)

参加料 明記していないものは無料(総合動植物公園入園料必要) 申し込み 明記していないものは不要